

HCM Sports Garage Run Meeting（鈴鹿サーキット）走行前ブリーフィング資料

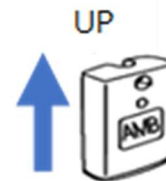
HCM Sports Garage Run Meeting では、ご参加いただく皆さまが楽しくサーキット走行をお楽しみいただくために、以下のルールの遵守をお願いしております。サーキット発行のブリーフィング資料と併せてご覧下さい。

1) 走行時の装備品について

走行の際は、必ずヘルメット（半キャップはNG）、グローブ（指が完全に覆われているもの）、シートベルトの着用を確認してください。また、服装は動きやすい長袖、長ズボン、靴はドライビングシューズもしくは運転しやすいスニーカー等を着用してください。

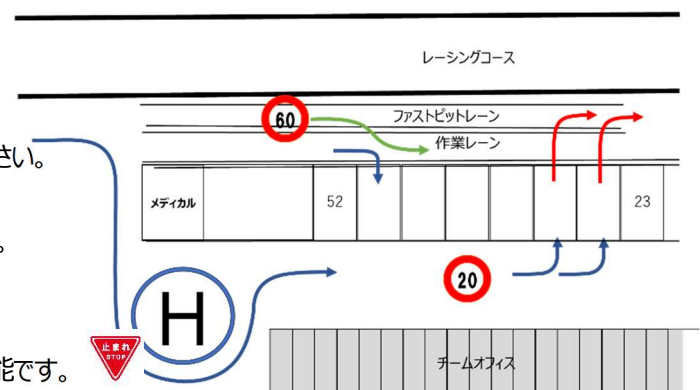
2) 車両の準備：走行中の故障防止のため、以下の確認をして下さい。

- ①ゼッケンは車両右側の見えやすい位置に貼付して下さい。（運転席ドアを推奨）
- ②トランスポンダの方向に注意し取り付けして下さい。
（推奨：トランスポンダをタオルでまきドアポケットに押し込むように装着）
- ③タイヤ（空気圧、ホイールナットの増し締め）、オイル（量、ドレンボルト、オイルフィルターキャップ、レベルゲージ）、ブレーキ、冷却水、等を点検して下さい。
- ④各自牽引フックの位置を事前に確認しておいてください。脱着式の牽引フックの場合は、予め装着しておくか、車内に搭載しておいてください。（予め装着を推奨）
- ⑤クラッシュ時の受傷防止のため、室内の備品は撤去し、ドライバー側の窓は完全に閉めて走行して下さい。
熱中症防止の観点から、他の窓を開ける場合は各窓 5cm 以内として下さい。
- ⑥オープンモデルはロールケージの装着を強く推奨いたします。ロールケージ非装着車はルーフを閉めて走行して下さい。サンルーフ付き車両はサンルーフを全閉で走行して下さい。これら車両へはフルフェイスヘルメットの装着を強く推奨します。



3) ピットロードへの進入・退出

- ①ピットロードへの進入は各自指定のピット内から直接ピットロードへ進入して下さい。
- ②チェッカー後、ピットインしてくる車両は、一度、メディカル横（ピットビル手前）からパドックへ進行し、パドック側から自身のピット内へお戻り下さい。
※ピットロード上で走行終了（チェッカーフラッグ）となった車両は、次走行車両がピットアウト後、直接自身のピット内へ直接お戻り下さい。ピットロードの逆走、バックは禁止です。
- ③ピットロードへ進入の際は左から来る車両に十分に注意して下さい。
- ④ピットロードの制限速度は 60km/h です。
横断者やピットイン、BOX アウト車両に十分に注意して下さい。
- ⑤パドック内の制限速度は 20km/h 以下です。
歩行者や他の車両に十分に注意して下さい。
- ⑥前走クラスのチェッカーフラッグ提示後、ピットロードへの進入が可能です。
ファーストピットレーンを走行し、係員の指示に従いピットレーン出口に 2 列で待機して下さい。
※1 クラス 1 本目走行は走行開始 7 分前から進入可能
- ⑦走行時間中にピットインし、作業を行う場合は、自身のピット前作業エリアで作業を行ってください。

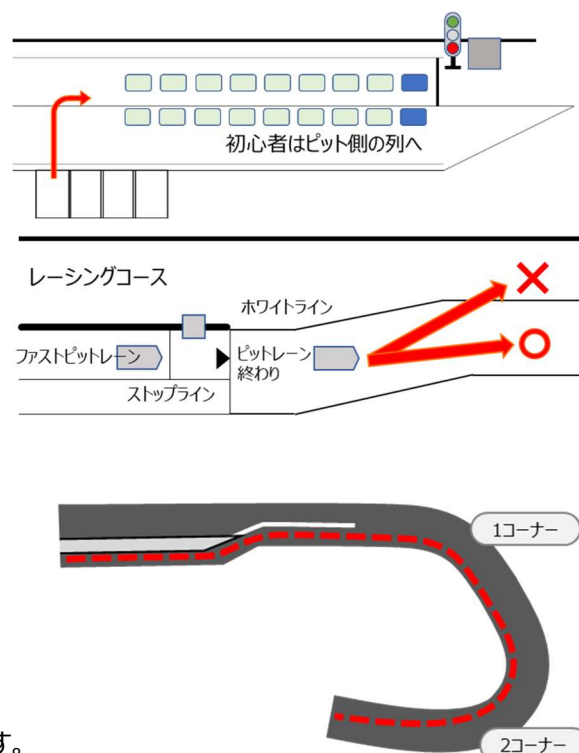


4) コースイン・ピットインについて

各クラス、1 本目の走行開始は先導車について慣熟走行（OUT/IN コースインしてそのままピットイン）をおこないます。

※慣熟走行では、車両の状態、コースの看板、当日の表示ポスト位置、LED シグナル位置、ピット入口等を確認して下さい。

- ① ピット出口シグナルがグリーンの時にコースインが可能です。
赤の場合はピット出口ストップラインで待機して下さい。
- ② 走行1周目はタイヤが温まっていません。
グループが上がるまで十分に注意して走行して下さい。
- ③ コースイン時のホワイトラインカットは厳禁です。
ストレートを高速で走行してくる車両との交錯の危険があります。
- ④ ピットアウト直後の急加速はやめましょう。(特にFR車両)
過去にコントロールを失い、ハーフスピン状態で走行路に飛び出し、
重大な事故が発生しています。
- ⑤ コースイン…2コーナー立ち上がりまではコースの右端を走行し、
S字カーブから後方を確認してレコードラインに合流して下さい。
- ⑥ ピットイン…130R立ち上がりからコースの右端をキープし走行
して下さい。その際、右側のウィンカーを点灯させ、他車に対し
明確にピットインの意思表示を行ってください。
ピットイン時の急激な減速は危険です。日立 Astemo シケインから
徐々に減速し、最終コーナー途中からピットインとなります。
コースイン時同様、ホワイトラインカット、急激な進路変更は厳禁です。



5) 走行時の注意事項

走行会はレースではありません！他車との間隔を十分に確保し、接触事故の無いよう最大の注意と、他車への配慮をお願いします。
接触事故はスピード差とお互いに予測不能なライン取り、スピード差により起こります。お互いのコミュニケーション不足、利己的な運転が接触事故の元となります。以下の事を心がけて安全な走行をお願いいたします。

① 抜かれる側の心構え

お先にどうぞの意思表示：後続車に進路を譲る場合はウィンカーを使用し意思表示をしましょう。車両を寄せる方向にウィンカーを出し、オーバーテイクしていく車両に十分なスペースを提供しましょう。急激なライン変更や過度な減速は必要ありません。逆に事故の原因となる可能性があります。想定を超えた動きが事故を招きます。

※初心者の方には「初心者マーク」をご用意しています。ご利用下さい。



② 抜く側の心構え

オーバーテイクをしようとしているあなたの方が上級者または性能の勝る車に乗っています。

オーバーテイクは抜く側にその責任の多くがあると云えます。前走車の意思を読み取ってからオーバーテイクにかかりましょう。

プロドライバーのバトルはお互いの意思疎通の上で成り立っています。

・ウィンカーや明らかな走行スペースの提供など「オーバーテイクして下さい」の意思確認はできていますか？

・意思表示があったとしても前走車はどんな動きをするかわかりません。最大限のリスク回避を予測しましょう。

③ パッシング・ホーンは原則として使用しないで下さい。

④ 貴方より速い車がいることを常に意識しましょう。走行中は、常に前後、左右の状況チェックをしましょう。前方より後方、左右に注意を向ける事が必要です。

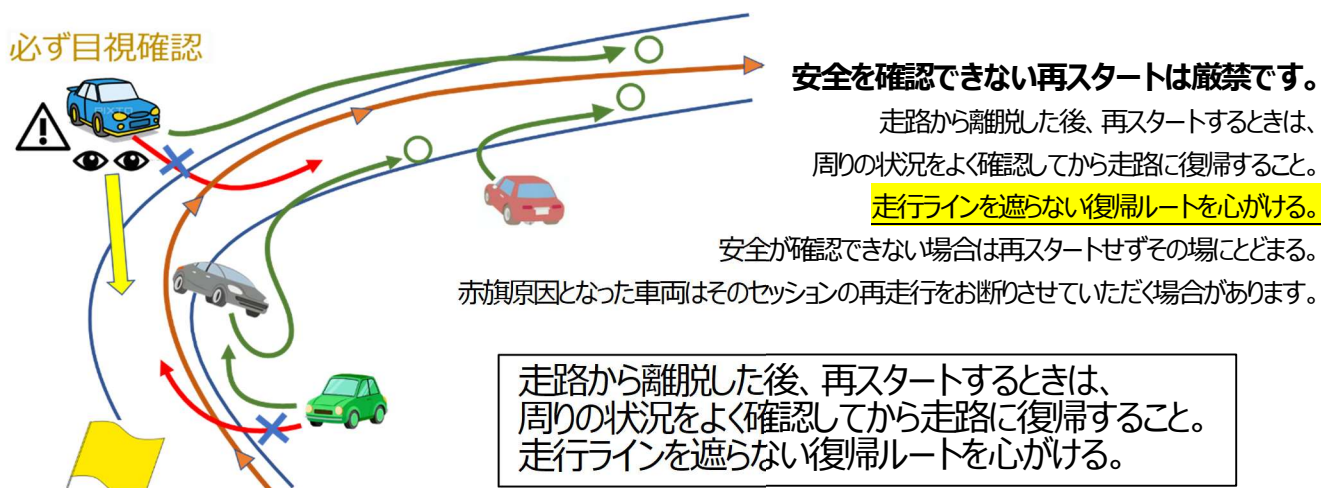
⑤ ストレート上での進路変更は追突の原因となります。後方の車両に十分注意しましょう。危険な進路変更を禁止します。また、ストレートでの追越は、コースインしてくる車両に注意をして行なってください。

- ⑥車両によってコーナリング速度は異なります。「他人が曲がれたから自分も曲がれる」わけではありません。無理なコーナリングは重大事故を引きおこします。また、グラベル地帯（バンカー）は深さ約 50cm です。コースアウトの角度により横転も発生します。
- ⑦走行中は助手席などに同乗者を乗せることは出来ません。
- ⑧走行中の車両同士の事故は、原則として自己責任です。損害、ケガ等の治療費用も自己負担です。解決は当事者同士で行ってください。主催者、サーキットは関与いたしません。

「意思の疎通」「予測」「思いやり」「過信は禁物」

6) コースアウト・クラッシュ・車両トラブル時の対応について

- ①走行中、スピンやコースアウトが発生した場合、**可能な範囲で再スタートを試みてください。**
- ②再スタート不可能な場合は、エンジンを停止し、鍵はつけた状態で、すぐに車から離れ、一番近いコース外(ガードレール裏もしくはタイヤバリア裏、サービスロード)に待避してください。退避後は迎えの車両が来るまで**ヘルメットを装着したまま待機**してください。コース横断やコース脇などでの車両の整備は、一切禁止です。
- ※スマートキー車両はキーをグローブボックス内等、車両に固定して下さい。携帯電話の SOS 緊急通報は OFF にしましょう。
- ③クラッシュした場合は、自身の体が負傷していないかを確認ください。その後、車両が走行出来る状態であれば、車両を安全な位置(グリーン上、やエスケープゾーン、サービスロード等コース上から離れた位置)へ移動してください。
- ④再スタートし、ピットインしていただくことは可能ですが、クラッシュ後は車両からの液体漏れの可能性もあります。車両のダメージ状況が分からない場合は無理にピットインしないようにしましょう。
- ⑤体が負傷して動けない場合は、救急車もしくはレスキュー車両にて救助に向かいます。
- ⑥走行中に車両の異常を感じたら速やかにコース外（グリーン上、やエスケープゾーン、サービスロード等）に車両を停止させてください。トラブル状況が分からない場合は無理にピットインしないようにしましょう。万一、液体漏れが発生した場合、車両回収やコース清掃などの時間も走行時間に含まれるため、他の参加者にも影響が出ます。
- ⑦ クラッシュ等にて施設破損による補修費用、オイル漏れ等によるコース清掃料など復元に要する費用は請求させていただきます。



7) ピット・パドックのマナー・ルールについて

- ①ピット、パドックにおいての荷物の管理は、各自で行なってください。盗難に充分注意！
- ②ピットレーン、サインボードエリア（プラットホーム）の立入は、走行時間帯のみ入場可能です。また、16歳未満の方は、ピットレーン、サインボードエリアへの入場は禁止です。グランドスタンド等で見学をお願いします。
- ③喫煙（電子たばこ）は指定された場所で行ってください。

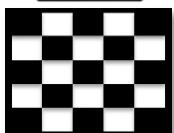
8) チェッカー

- ① 走行終了予定時間の約 7 分前にチェッカーフラッグを提示いたします。チェッカー後、ストレート上での急減速はしないで下さい。追突事故の原因となります。
- ② 後方に注意し徐々に減速をし、ピットインして下さい。
- ③ ブレーキを必要としない速度、エンジンに負荷をかけない回転で、クールダウン走行を推奨します。

コース上で使用されるフラッグについて



電子フラッグ 2本表示



イエローフラッグ (振動表示)

速度を落とし、追い越しをしないこと。進路変更する準備をせよ。

1 本 振動 トラック脇、あるいはトラック上の一部に危険箇所がある。

2 本 振動 トラックが全体的または部分的に塞がれているような重大な危険箇所あり。

黄旗(イエローフラッグ Yellow Flag)は競技車両がコース上に止まったり、グラベルにはまって動けなくなったりすると、現場の手前のオブザベーションポストで振られ、後続の車両に対して危険を知らせます。黄旗の提示は振動(旗を振る)で行われます。徐行ではありません。

グリーンフラッグ

黄旗区間の解除に使用します。グリーンフラッグの先は通常走行に戻ります。

※ 走行開始の 1LAP 目で表示される場合もあります。表示位置を確認して走行して下さい。

赤縦縞 黄色フラッグ

赤の縦縞のある黄旗 (オイルフラッグ)は提示された先のコース上に、オイルがあり路面が滑りやすくなっていることを知らせます。雨が降り出して路面が滑りやすくなったときや、コース上に砂利や落下物などがある場合にも提示されます。数周で撤去される場合があります。

赤旗 (振動表示)

赤旗 (レッドフラッグ)はセッションの中断を意味します。大雨などの急な天候の変更や、大きな事故が発生したときなど、走行を継続することが危険であったり、困難と判断されたとき、全てのオブザベーションポストで振られ、セッションの中断が伝えられます。**安全な速度で徐行し、ピットインして下さい。**

白旗 (振動表示)

前方に低速車両が走行中です。(救急車、トラブル車両等) 速度差による追突に注意して下さい。追い越し可能です。

オレンジディスク (ゼッケンボードと共に表示/または対象車両に指しをします)

オレンジ色の円形(直径 40cm)のある黒旗は、パーツが破損したり、オイルが漏れているなど機械的な欠陥がある車両に対してゼッケンボードと共に不動表示されます。**速やかに PIT インし、係員の指示に従って下さい。**

黒旗 (ゼッケンボードと共に表示/または対象車両に指しをします)

走行中の運転者に PIT インを指示する場合に使用します。

チェッカーフラッグ (振動表示)

走行終了を意味します。速度を落とし、クールダウン LAP の後、PIT インして下さい。急減速はしてはいけません。後続車の衝突事故の原因となります。

オフィシャル配置

